

クレジットカード決済(接触 EMV、非接触 EMV 対応)および J-Debit 決済サービスの提供を開始

株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役：大高 敦、以下「TMN」）は、2018年3月からクレジットカード決済サービスおよび J-Debit 決済サービスの提供を正式に開始することとなりましたので、お知らせいたします。

TMN は、シンククライアント型のマルチ電子マネー決済サービスを実装した TMN センタと自社製端末「UT1-Neo」等の電子マネー決済端末により、現在、日本全国の食品スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアをはじめとした多くの小売・流通事業者（2017年12月現在、約22万台端末接続実績）に、サービスを提供しております。また、TMN ゲートウェイ(*1)として、共通ポイントや地域マネーなど、電子マネーに留まらない様々なサービスにも対応しております。

このたび TMN 決済センタを大幅に拡張し、新たにクレジットカード決済サービス（接触 EMV *2、非接触 EMV *3 に対応）および J-Debit 決済サービス(*4)の提供を開始いたします。また、本サービス開始に伴い、2018年3月発売予定の新型マルチ決済端末「UT-X10」等との接続(*5)により、クレジットカード決済、電子マネー決済、共通ポイントなど様々な決済サービスをワンストップで提供することが可能となります。

TMN では、現在クレジットカード業界のセキュリティ標準化協議団体である「PCI SSC(*6)」が定める「PCI P2PE(*7)ソリューション」の認定取得(2018年3月取得予定)を進めており、本サービスは、クレジット実行計画（改正割賦販売法 *8）における「クレジットカード情報の漏洩対策」の「非保持化(*9)」と「PCI DSS (*10)準拠」に則ったサービス提供を実現します。

TMN は、2020年に向け、小売・流通事業者をはじめとした、クレジットカードをお取り扱いする全ての事業者が、安心して導入できるサービスを提供してまいります。

*1 TMN ゲートウェイ：様々な決済・CRM サービスを TMN のネットワーク通じてワンストップにてご提供できるサービス。

*2 接触 EMV：「EMV(*11)」に準拠した、カード端末機のリーダ/ライタ端子と接触するモジュール端子を持つタイプでカードと端子が直接接触して通信を行う方式。

*3 非接触 EMV：「EMV(*11)」に準拠した、機械的な接触を通さずに端末のリーダ/ライタから発生している無線通信でデータの読み書きができる IC カード。

*4 J-Debit 決済サービス：銀行や信用金庫、労働金庫など金融機関で発行されたキャッシュカードをデビットカードとして支払いに利用できるサービス。

*5 POS 等の上位機器との接続が必要となります。

*6 PCI SSC：PCI Security Standards Council の略で国際カードブランド5社が共同で設立した、PCI 関連基準の策定・維持、普及と実施に関する運用及び管理を行う団体。

*7 PCI P2PE：PCI SSC によって定められたカード情報を強力に保護する仕組み。端末からセンタまでの通信路上のデータを暗号化する。

*8 改正割賦販売法：2016年12月9日に公布された「改正割賦販売法（割賦販売法の一部を改正する法律について）」。

*9 非保持化：電磁的に送受信しないこと、すなわち、「自社で保有する機器・ネットワークにおいて「カード情報」を電磁的情報として『保存』、『処理』、『通過』しないこと」。

※出典：一般社団法人日本クレジット協会ウェブサイト (<https://www.j-credit.or.jp/security/understanding/member-store.html>)

*10 PCI DSS：Payment Card Industry Data Security Standard の略でクレジットカードの会員データを安全に取り扱うことを目的として策定された、クレジットカード業界のセキュリティ基準である。

*11 EMV：Europay, MasterCard, VISA protocol の略で三社間で合意された IC カードによる取引の国際基準。

本件に関するお問い合わせ：

株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス

経営戦略部 新規サービス企画グループ

担当：吉川・政岡

お問い合わせはこちら <https://www.tm-nets.com/contact/>